改革の実現に向け協同の力を発揮

83会場で「秋の座談会」

秋の座談会（菩提）

ＪＡはだのは9月29日（金）から10月12日（木）まで、市内83会場で「秋の座談会」を開きました。

座談会には、全体で1155人の組合員が出席し、589件の意見・要望が寄せられました。主には、自己改革への取り組みや役員改選などについて多くの質問および意見が寄せられました。

これらの意見・要望は、担当部署や担当部会で検討を重ね、さらに理事会で協議しました。

ここに主なものを報告します。

組合員の皆さまから寄せられた意見・要望を今後のＪＡはだのの運営に反映させ、さらに発展させるように役立てていきます。

意見＝組合員からの意見要望です
対応＝意見・要望に対するＪＡの対応です

秋の座談会出席状況

2017年9月29日（金）～10月12日（木）

地区名	出席人数（うち女性）		意見・要望
大根	146	(38)	83
本町	100	(34)	66
東	168	(48)	87
南	167	(46)	94
北	138	(45)	94
西	266	(88)	117
上	116	(34)	38
本所	54	(28)	10
合計	1155	(361)	589

営農

米「はるみ」の特徴は

意見 今年から水稲新品種の「はるみ」ケイ酸資材を作付けしたが、倒伏してしまった。「キヌヒカリ」より優れた品種と聞いていたが、どのような特性の品種なのか。（大根・本町・東・北・西）

対応 「はるみ」は「コシヒカリ」と「キヌヒカリ」を交配した品種で、玄米品質にも優れ、食味も良好と言われています。また、高温障害への耐性や穂発芽しにくいといった点が長所として挙げられます。初期生育が旺盛な品種なので、「キヌヒカリ」と同量の元肥を施用すると、背丈が伸びる傾向にあります。今年は紋枯病の発生に伴う倒伏も散見されました。対策としては、元肥の減量、紋枯病対策、ケイ酸資材を施用することにより、倒伏のリスクを軽減することができます。

意見 都市農業の在り方に、地域への農業理解につながる事業として、生産緑地で家庭菜園などができる仕組みはないか。（南）

対応 秦野市都市農地保全活用推進協議会で、生産緑地での都市型農業経営形態として体験型農園の普及を手掛けています。市街化区域内農地の保全活用・後継者対策などの期待も大きい事業として、行政と連携して取り組んでいきます。

意見 電気柵の助成金は来年も継続してとから次年度も期間を延長して対応します。種類は乾電池式とソーラー式があります。生産組合注文の取りまとめ（年2回）およびＪＡグリーン店舗でもセット価格で販売していますので、ご相談ください。助成は年度内に1回で、事業費の2分の1以内、上限は3万円です。ＪＡはだのの助成とは別に組合員は、ＪＡグループ神奈川が実施する「農家応援プログラム」の有害鳥獣対策費用助成を受けることができます。実質負担額（補助金等控除後）の2分の1以内、上限15万円までです。こちらは対象条件（耕作面積30㌃、販売金額50万円以上）などがありますので、申請については各支所・支店・営農課まで確認をお願いします。

「はるみ」の生育状況を毎月調査

意見 生産資材コスト低減について、ＪＡ全農はどう考えているのか、また仕入れ先は全てＪＡ全農なのか。（大根・東）

対応 過去の仕入れ先でしたが、現在ではＪＡ全農と系統外業者と比較し、安価で品質も良いものを選択するようにしています。ＪＡ全農も取扱銘柄の集約や、仕入れ先の徹底した比較を行い、有利な取引先からの調達により供給価格低減の取り組みを始めています。

意見 生産組合注文書の件で、資材関係は回覧で記入しても支所や本所に届かないことがあったので、農薬・肥料と同じ個別注文にできないか。（大根）

対応 同様の事例は他支所でも発生していますが、個別注文はコスト面を考えると難しい状況です。2017年9月の注文書から表紙に発注確認欄を設け、注文する方が○印を付けることで、注文の確認ができるように改善し、中身を見ないで注文の有無が分かるようにしました。この欄への記入を励行していただき、誤廃棄や未提出の解消にご協力をお願いします。

意見 ＪＡから農機具を購入していないが、使い方の指導をしてくれるのか。ＪＡで購入していない農機具も整備講習会に参加できるのか。（西）

対応 農機具に関する問い合わせや使い方の指導については、特殊なものを除き対応します。整備講習会は農作業事故の撲滅を目指した実施で、購入先などの条件はありません。生産組合などを中心とした団体での講習会ですが、農機具の安全使用のためぜひご参加ください。

JAはだの

発行所
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
編集兼発行者 宮永 均

JAはだの
R70
古紙パルプ配合率70％再生紙を使用

目次

1面…営農関係
2面…はだの農業支援センター・店舗販売・生活福祉・経済・葬祭関係
3面…信用・共済・改革推進関係
4面…総合リスク管理・企画・総務・組織教育・㈱協同コンサルトはだの関係

総合リスク管理

不祥事未然防止に向けて

意見 他県のＪＡで多額の横領が発生した。ＪＡはだのでは、どのような対策をしているか。また、監査体制はどうなっているか。（東）

対応 ＪＡはだのは、導入や無通告の検査、定期的な人事異動を行っています。現在、監事監査、内部監査の他、ＪＡ全国監査機構監査や行政監査、全国監査機構監査を受けています。向けた取り組みとして、役職員教育によるコンプライアンス意識の徹底の他、連続職場離脱制度の検討を受けています。

企画

環境変化見通し事業展開

意見 ＪＡはだのは合併についてどう考えているのか。合併はしないのか。（大根・本町・東・南・北）

対応 近隣ＪＡの動向を注視し、当ＪＡを取り巻く環境の変化などをよく考察した上で、合併も一つの選択肢として、判断していきます。

意見 上半期剰余金が前年と比較して1億円減少している要因は何か。また、下半期の見通しと、今後の対策は。（全地区）

対応 日銀のマイナス金利政策の影響による信用事業の利ざやや信連からの奨励金・配当金が減少したこと、また残業や退職関係の人件費が増加したことが主な要因です。

事業実績については計画通り推移しているものの、マイナス金利などの影響で依然厳しい状況です。貸出金や有価証券などの自己運用を伸ばしていくとともに、経費の抑制に努め、収支改善に取り組んでいきます。

組織教育

かわら版 地域情報お届け

地区の情報が満載の「かわら版」

意見 各支所・支店で発行している広報紙（かわら版）はパソコン打ちでなく、手書きの温かみが伝わって良い。身近な情報が掲載されていて毎回楽しみにしている。今後も続けてほしい。（南・北・本所）

対応 教育の一環としてＪＡや地域のことを学ぶため、各支所・支店の若手職員が担当し、毎月発行しています。今後も身近な情報を載せた、地域密着の紙面を心掛けていきます。本所1階の入口付近に全支所・支店のかわら版を掲示していますので、ぜひお目通しください。

意見 座談会は市内83会場で開催されているが、出席者はどのくらいか。（南）

対応 年度や春か秋かによって出席人数は前後しますが、おおむね100～1300人の組合員が出席しています。昼間や土曜日の開催など、多くの組合員が参加しやすい方法で開催し、より農業を知ってもらう取り組みをしているが、都市農業を盛り上げるため、さらにＰＲしてほしい。（南）

対応 「組合員基礎講座」「専修講座」の3講座からなる協同組合講座を開講しています。この講座では、地域農業や協同組合に関することをはじめ、農政や生活、文化、環境、税金など、さまざまなテーマに沿ったカリキュラムを企画・実施しています。修了者が農業について理解を深めるとともに、地域リーダーとなってもらえるよう、今後も一層効果的な内容を検討するとともに、より多くの組合員に受講してもらえるようにＰＲしていきます。

講座で輸入農産物の保管状況を視察

意見 生産緑地制度とその改正について説明してほしい。（南・北・西・上）

対応 秦野市は生産緑地制度の三大都市圏特定市に該当し、現在、市内で679カ所、102・6㌶が生産緑地指定を受けています。生産緑地は、税金が農地課税で優遇され、1992年の当初指定から30年経過で買い取り申し出もできます。

今回の大きな変更点は①面積要件の緩和や道連れ解除になる可能性減②農家レストランなどの設置が可能③特定生産緑地の創設――の三つです。生産緑地指定後30年経過した生産緑地は、10年更新の「特定生産緑地」として引き続き指定されると、税制優遇の継続と農地の保全を図ることができます。

総務

組合員資格のご確認を

意見 組合員資格を確認することについての記事を目にしたが、現在、正組合員としての資格がない。どうしたら良いのか。（本町・南）

対応 配当金のお知らせや機関紙「ＪＡはだの」で組合員の資格、合員への変更が必要となりますので、各支所・支店へお申し出ください。

意見 組合員が増加しているのはなぜか。また、組合員加入のメリットはあるのか。（東）

対応 給油価格の組合員割引を目的に加入される方が増えたことや、員外利用制限の面から事業利用者の組合員加入を勧めているためです。また、給油価格以外にも各事業利用割引や活動助成など、今後も魅力を感じることができる組合員メリットを提供していきます。

意見 役員改選について、主な変更点を教えてほしい。（全地区）

対応 役員の定数は理事25人・監事5人の30人となります。また、理事の過半数は認定農業者または実践的能力者としなければならないことや、業種別部会についても区域からの推薦になることなどが変更となります。また、常勤役員は新たに営農経済担当常務を設置し、4人体制となります。さらに理事の3人が女性枠となります。

意見 本町支所の新事務所に貸金庫を設置するとのことだが、サイズと利用料はどうなるのか。（本町）

対応 全自動タイプで、サイズは高さ12㌢、幅26㌢、奥行45㌢で123マスの貸金庫を設置します。利用時間はATMの稼動時間帯に合わせて土・日曜日、休日も対応し、利用料金は組合員月額1500円（税別）です。

ご希望の方は本町支所（☎81―0019）までお問い合わせください。

組合員資格をご確認ください

組合員加入の際にご提出いただいた書類の記載に変更がある場合、その旨を書面で届け出ていただくことになっております。以下の組合員資格を確認の上、資格要件・氏名・住所・電話番号などの届出事項に変更・修正があった場合は、各支所・支店窓口へお申し出ください。また、不明な点がありましたらお問い合わせください。

【正組合員資格】
- 耕作面積が10㌃以上で農業を営む個人
- １年のうち90日以上農業に従事する個人
- 成鶏200羽以上、成牛５頭以上、豚50頭以上のいずれかを常時飼育、または養蚕30㌘以上育てる個人。もしくは、温室100平方㍍以上を経営する個人

【法人正組合員資格】
農業を営む法人で、事務所または経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

【准組合員資格】
秦野市内に住所を有する個人で、継続して組合の事業を利用する方

総務

新築の相談を受付中

意見 （株）協同コンサルトはだのは、相談からアフターサービスまで、組合員の不安や問題を親身になって解決します。また、建築の各工程で、メーカーとは別に検査を行い、各工程検査に合格した建物だけを引き渡します。

その他、宅地・駐車場など土地の売買から賃貸借まで行っています。ぜひご相談ください。

㈱協同コンサルトはだの

はだの都市農業支援センター

荒廃農地を観光資源に

意見 高齢化が進み今後はさらに荒廃地が増えると懸念されているが、農地の貸し出しなど、観光などに生かしてほしい。また行政とJAで取り組んでいる内容はあるのか。（本町・南・西・上）

対応 JAの「さわやか農園」や行政などの「ふれあい農園」と「コミュニティ農園」で農地の貸し出しをしています。農地中間管理機構の活用なども考えられます。

上地区では、地区営農推進協議会と支所運営委員会が連携しながら農園ハイク収穫体験や不耕作地にソバを作付けし、そば作り教室を行っています。

意見 檻（おり）で鹿・猿友会に止め射しをしてもらうが、その後のイノシシを捕獲後、処理についてもお願いしたい。行政を通して働きかけできないか。（東・南・北・西・上）

対応 猟友会の役割は止め射しの殺処理までで、基本的には、檻の管理者に処分をお願いしています。その後の処理については、猟友会に働き掛けていきます。

定期的に捕獲檻現地検討会を開催

店舗販売

J・iba―GAP導入へ

意見 新聞などでGAP（農業生産工程管理）についての話題が多く取り挙げられているが、JAはだのではGAPに対してどのような取り組みを行うつもりか。（大根・南・西）

対応 安全な農産物を作り、農作業中の安全を確保し、自然環境への影響を抑えるといった目的に沿って農家が農業を実践していることを第三者が認証することです。生産から出荷までの各段階で、守るべきさまざまなルールが定められています。農家は、認証を得ることで、農産物の販売先などに対する信用力が高まり、販路が安定するメリットが期待できます。

はだのじばさんずでは、出荷者による農業生産活動の持続性を確保するためにGAP導入を促し、「食品の安全」「環境保全」「労働安全」に関する法令などを遵守するとともに、加工品出荷者に対してはHACCP（危害分析重要管理点）導入を促し点検項目を定め、その実施・記録・点検・評価を繰り返し生産工程の管理改善に努めます。10月には全出荷者を対象とし、JibaーGAP導入などを行ったJibaーGAP導入農家の生産物を扱いはできないのか。（本町・東・南・北・西・上）

意見 農家の所得増大の取り組みとして、梨・苺（いちご）サイダーを販売しているが、評判はどうか。また、容器を瓶からペットボトルや缶にしてはどうか。（本町・東・南・北・西・上）

対応 梨部やいちご部へ依頼して、規格外の農産物を加工し製品化することにより、農家の所得増大と「オンリー売り上げは順調に推移しています。また、容器については発注単位が課題です。

好評を得た「はだの丹沢梨サイダー」

意見 はだのじばさんずの取扱高は、近年10億円を前後しているが、差別化商品の開発や出荷者のモラルなどの指導を含めた販売強化が必要ではないか。（大根）

対応 販売戦略としては、はだのじばさんずでしか購入できない「オンリーワン商品」の開発で、ドレッシングやサイダーの販売に努めています。出荷者へもスーパーマーケットなどでは手に入らない農産物の栽培や収穫時期をずらした出荷などで、単価が上がる方法を促しています。

また、栽培講習会や農薬安全管理指導などの講習会を設け、出荷者のモラル向上と販売強化に努めています。

料理教室の合間に子どもの世話をする保育サポーター

生活福祉

活気あふれる女性部活動を

意見 女性部の部員が、それを広く募集し、出来る方が委員となり、役員の負担軽減につながっています。皆さまで活動を盛り上げましょう。

対応 今年度、運営委員（サポーター）を部員から募集し170人が協力しています。今まで班長や役員は全ての行事の運営委員でしたが、減り、班長や役員の受け手がなく困っている。役員を受けると負担が大きいので、行事を減らしてほしい。（北）

意見 人間ドックの胃を受けているが、高齢になると体を支えるのがきつい。胃カメラは予約が取りにくいので、優先し予約を取ることができないか。（東）

対応 健康管理センターでの胃カメラ受診者数が限られており、希望者が非常に多いことから、旅行にきっかけにJA事業を理解してもらえるよう取り組んでいきます。

意見 組織に捉われずにさまざまな利用者が参加できる。旅行をきっかけに利用者を獲得して事業の拡大を図ってみてはどうか。（大根）

対応 さまざまな旅行を実施していきます。協同組合らしく、人のつながりを大切にして旅行をきっかけに、さらにJA事業を理解してもらえるよう取り組んでいきます。

意見 支所・支店旅行により、事業や組織に捉われずにさまざまな利用者が参加できる。旅行をきっかけに利用者を獲得して事業の拡大を図ってみてはどうか。（南）

対応 神奈川県産米は全体の作付け量も出荷量も少なく学校給食への供給も不足、年間に安定して供給できる数量が不足している状況です。

「はるみ」については、組合員がはだのじばさんずに出荷していますので、こちらでお買い求めください。

これからも、「安心」なお米としてJAのパールライスをご賞味ください。

意見 JAの指定業者と言って「アサンテ」が、シロアリや床下診断の点検巡回に訪問しているが、指定業者一覧表を作成して組合員に配布したらどうか。（南・西）

対応 株式会社アサンテは、JA全農指定業者です。必ず「JAはだの」と書いてある名札をつけて訪問しています。

また、指定業者一覧については、業者の数も多いことから難しい面があります。訪問時には身分証明書も携帯していますので、不審だと思われたらJAへお問い合わせください。

葬祭

会葬者に見やすく案内

意見 ホールはだのの焼香前にある「ご焼香はしばらくお待ちください」の看板が高い位置にあり、祭壇が見えにくいので少し下げてほしい。（西）

対応 一般会葬者の方が決められた時間前に焼香しないよう、あえて視界に入る高さにしてご案内しています。ご理解ください。

信用

じばさんずでJAカード利用を

意見 じばさんずでJAカードを利用できないか。（大根・西）

対応 JAカードの売所5％割引については、直売所利用者の拡大、直売所売り上げの増加、生産者の所得向上に資することを目的に、JAバンクが今年4月から開始した2年間限定の全国施策で、割引部分の5％は農林中央金庫が負担しています。全国およそ795カ所、県内では35カ所の直売所が割引対象です。

はだのじばさんずでの会計の際、JAカード（ニコスブランド）で支払いをすると、農畜産物に限らず全ての商品が請求時に5％割引になります。

じばさんずでJAカード入会キャンペーンを実施

意見 じばさんず5％割引について教えてほしい。（大根・西）

対応 JAカードのじばさんず5％割引とは、JAカードご利用時に、じばさんずでのお買い物代金が5％割引になるサービスです。

意見 ゆうちょ銀行のATMでJAのキャッシュカードで入出金すると手数料が掛かるようになったのか。手数料が掛かっても構わないので、午後6時以降もセブンイレブンのATMが利用できるようにしてほしい。（西・上）

対応 ゆうちょ銀行ATMご利用時の手数料は、9月の機関紙「JAはだの」やホームページでもお知らせしている通り、10月2日から有料になりました。（平日午前8時45分～午後6時の入出金手数料を108円に変更）。また、平日日中以外の手数料も見直しました。曜日や時間帯で手数料が異なりますので、詳細はホームページや店頭でご確認ください。現在もセブン銀行ATMで、JAのキャッシュカードは午後9時まで利用できます。無料の時間帯は平日の午前8時45分～午後6時、土曜は午前9時～午後2時です。それ以外の時間帯（日曜・祝日は終日）には1回108円の利用手数料が掛かります。

改革推進

秦野の魅力を都内で発信

意見 JA東京アグリパークに週替わりでPRを行っています。その中で、7月中旬に4日間JA東京中央（世田谷区・杉並区・大田区管内）主催のイベントに参加し、秦野産の農産物を販売しました。また、全国のJAにもPRの機会に新装オープンしました。その1階をアグリパークとして食と農に関わるさまざまな取り組みを実施しました。

秦野産農産物の直売や「うでピー」の販売を中心に、青年部の対面販売や女性部による料理、工作教室などを行いました。

秦野の農業だけでなく、秦野市・商工会議所・観光協会の協力を得て秦野の魅力をPRしました。今後は未定ですが、機会があればさまざまな場所で秦野の農業をPRしていきます。

意見 年金の支給漏れが問題になっているが、JAでは年金関係の相談に乗ってもらえるか。（北）

対応 本所信用課に年金業務専任のJAレディーが2人います。公的年金の裁定請求手続きのサポートや、もらい忘れ年金の相談なども受け付けていますのでぜひご相談ください。

意見 約高が前年と比べ大幅に伸びている一方、保有高が減っているのはなぜか。（大根・東・上）

対応 今年の4月に建満期共済金額の30倍まで保障ができるようになったことです。（従来は10倍まで）。その分安い掛金で大きな保障が可能となりました。

また、所定の門・塀・カーポートなどの保障も自動付帯となりました。この機会に保障の見直しをしてみてはいかがでしょうか。

共済

保障見直しで安心を強化

意見 新しい建物更生共済の変わった点は。（大根）

対応 「むてきプラス」の主な変更点は、満期共済金額の30倍まで保障ができるようになったことです。（従来は10倍まで）。その分安い掛金で大きな保障が可能となりました。

意見 先日、渉外担当の職員に建物更生共済の見直しを提案してもらった。タブレット端末での説明も非常に分かりやすく、安心して手続きができた。（西）

対応 タブレット端末を渉外担当全員に携帯させ、分かりやすい説明とペーパーレスによる事務処理の効率化に取り組んでいます。

火災はもちろん、地震にも
備えられる建物や家財の保障
NEW 建物更生共済
むてきプラス
あの「むてき」がパワーアップ！
くらしの保障、相談するなら
JA共済
●ご加入にあたりましては、お近くのJA（農協）へお問い合わせください。
■JA共済ホームページアドレス　http://www.ja-kyosai.or.jp
17461050148

JA東京アグリパークに出店して秦野産をPR

JAはだのとして何かを行うなど、考えていることはあるのか。（大根・南・北・西）

対応 新東名高速道路のSAへの出店については、NEXCO中日本から開通予定だが、サービスエリア（SA）や周辺で合事業の展開により「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けて挑戦しています。組合員の期待に応え、認めていただくことが一番大切であると考えています。各部署で重点項目を定め改革の実現に挑戦していますが、その中で営農経済改革は「農業協同組合」としてしっかり取り組まなければならないと思っています。

意見 2020年度に開通予定だが、サービスエリア（SA）や周辺で「協同組合」として、総できるかなど課題が多くあることから、この決定したテナントと交渉して、農産物直売コーナーを設置することや、飲食店には秦野産の農産物を使っていただくよう秦野市の協力を得て交渉を進めていきたいと考えています。

また、秦野市や商工会議所、観光協会と連携し、スマートインターチェンジ周辺に直売所や観光農業の拠点施設設置などを検討していますが、具体的な方向性は出ていません。今後も引き続き検討していきます。

その結果、3月には「はだの丹沢梨サイダー」を、8月には「はだの丹沢苺サイダー」の販売を開始しました。両方とも1万2000本を製造しましたが、梨サイダーは8月に完売し、現在追加製造をしています。苺サイダーも販売当初から